

# 県政を大もとから変えて 子ども、高齢者、障害者 若者、女性を大切にしよう

みなさんと  
力をあわせ



## ●「福祉の心」を取り戻す

県立袖ヶ浦福祉センター入所者が職員からの暴行で死亡。背景には県の人件費削減があります。銚子市内県営住宅での母子無理心中事件は、県が家賃減免制度を利用させていれば防げました。



福祉の現場に歳出削減優先の「人減らし」「安上がりの福祉」を持ち込まない。

## ●いつでもどこでも病院にかかれる

県が中学3年まで通院費を助成すれば、さらなる市町村の上乗せで高校3年・18歳までひろげることが可能です。

重度障害者児医療費助成は、一部負担金や年齢制限に対する強い怒りを呼んでいます。医師・看護師不足は深刻。県立病院廃止や病床削減計画は地域医療を壊します。



県立病院の充実や修学資金貸付制度拡充などで医療体制を整える。住民の命と健康を守り、地域医療に対する県の責任を果たす。

## ●安心の子育て、豊かな老後のくらし

県内の保育所待機児は、いわゆる「隠れ待機」を含めると4000人。認可保育所増設や保育士待遇改善が急務です。

要支援者の介護サービス切り捨てや1万3千人の特養ホーム入所待ちなど、まさに「保険あって介護なし」です。



育児と仕事の両立、高齢者と家族が安心できる介護をめざし、県有地有効活用、経済的負担軽減、保育士、介護職員の処遇改善など県独自の支援を強める。

## ●教育費の負担軽減と教育条件整備

私学の施設設備費（平均年24万円）は家計に重くのしかかっています。返済不要の給付制奨学金はますます切実です。

少人数学級の拡大に必要な教員配置は国任せです。産休、療養休暇等の代替教員未配置、特別支援学校の教室不足、老朽化した校舎など学校の状況は深刻です。



お金の心配なく、どの子ども学ぶ機会が保障され、一人ひとりの瞳が輝く教育環境をつくることに専念する。

## ●農漁業、中小企業振興と雇用創出

生産額全国4位の千葉県農業は農家数と従事者の減少、高齢化などの課題を抱えていますが、県の農業政策は、大規模経営化、営利企業参入が前面にでています。身近な商店街むけ予算は、一商店街当たりわずか6万3800円です。



県独自の価格保障、所得補償、後継者育成、多様な形態の営農支援。農地や水源地汚染が危惧される産廃・残土処分場は住民合意を大原則に。中小企業振興基本条例を活かし予算を増額。空き店舗活用、循環バス運行。地域経済の再生で雇用を増やす。

## 安倍政権の「戦争する国」づくり、9条改悪、侵略戦争美化にノー



現知事は、集団的自衛権行使に道をひらく安保法制＝戦争法は「合憲」。重大事故が相次ぐ米軍オスプレイの木更津駐屯地での定期整備容認、習志野演習場での陸自第一空挺団と沖縄米海兵隊（グリーンベレー）共同演習や「駆け付け警護」の新任務が付与された自衛隊南スーダンPKO派遣部隊の成田空港軍事利用をゆるしています。平和か、戦争への道か、政治の根本問題で、国にはっきりとノーと言うべきです。

県立中学校の教科書に日本の侵略戦争を美化する育鵬社版が密室で採択。一方、県教委は国旗・国歌の記述が気に入らない教科書を使う県立高校に異常な圧力をかけています。学校現場への介入・干渉は認められません。